



絵 三輪さやか



きらめき亀山^{かめさん}21

きらめき亀山21広報部
amani@helen.ocn.ne.jp

第26号

2003年5月21日発行

ついにやりました！ 東海道亀山宿への屋号看板取付 約400枚、全て完了 「宿場の賑わい復活一座」

そんなことできるわけない、正直なところ最初はそう思っていた。旧東海道筋の家々の軒先に140年前当時の屋号看板を付けるなんて。それも資金はほとんどゼロ、何より役所がやるのではない。市民ボランティアがそれぞれのお家に趣旨をご理解いただいて掲げさせてもらうという、前例の無い、気の遠くなるような企画であった。140年前の基礎資料は見つかりそれを現在の住宅地図のうえに載せる作業は教育委員会の学芸員の皆さんの手で、できるだけ正確に行われた。それでも一部には明治以降にその位置に移動があったりしたようだ。今回のようなプロジェクトは市民だけでできるものでなく行政の皆さんも一市民として汗を流して参加した正に画期的な協働作業であった。看板の木板は材木屋さんからほとんど無償で提供いただき墨での書き込みは書道塾の先生や生徒さんがボランティアで参加した。特に困難だったのはそれぞれのお家へのご理解をいただくことだった。何より前例が無いから信用されない。うさんくさい団体と思われ最初は「けんもほろろ」状態だったことも多々あった。幸い西町、万町界隈はメンバーが住んでいる地元でもあったので協力が得られた。そして順調に取付が終わった結果、多くの市民の皆さんにこの活動が知られることになった。東町は個々のお店の軒先への取付けは壁構造の状態から断念しアーケードの柱への取付けとなった。西小学校の児童と先生のお手伝いという嬉しいおまけもついて本町地区への屋号取付けに弾みをつけた。本町地区は、当初難航したが、ご理解いただけたところから取付を始め数度の作業回数を重ねることで可能ところは全て終了した。これにより亀山宿の東の端（本町4丁目 露心庵）から延々と東町万町西町を経て京口坂までの約3km東海道亀山宿の全てに約400枚の屋号が掲げられた。屋号はわかって、それが何の商売をしていたか判断できる例は少なくそれを想像することも、かつて栄えた街道を思い起こすきっかけになればと思う。できることならそれぞれのお家が自分の場所の過ぎ去った時代をしのびその屋号を大切に、将来はもっと立派なオリジナルの屋号看板を作り掲げていただけたらと思う。

（伊藤 記）

目次：

屋号看板取付全て完了 宿場の賑わい復活一座	1
地域の活性化を考える 会報告 「日本語サポーター 養成講座」を開催 亀山国際交流の会	2
「月の庭」亀山に根 付いた不思議な場	3
これからの行事予定	4

2003年6月21日（土）

19：30～21：30

「市民交流の日」

テーマは

「地域の課題を考えよう」です。

市役所3階大会議室

事前申し込み等不要

その日来た人は

みんな仲間！

坂本棚田野上がり祭り

6月1日（日）

10：00～14：00

坂本農村公園



花しょうぶ祭り

6月8日（日）

10：00～15：00

亀山公園菖蒲園



「なぜ屋号看板なの？」
説明した趣意書前にて
東町 ふれあい広場



いよいよ取付作業も終盤（本町4丁目）



七夕復活3年目、平成15年納涼たなばた祭りプロジェクトメンバー大募集

笹飾りを通して、多様な市民がふれあい交流し、活気の有るまちづくりにつなげることを目的に、今年も東町商店街のアーケードに七夕を飾りませんか。見ているだけじゃつまらない、全員参加全員主役の市民手作り納涼たなばた祭りプロジェクトに是非ご参加ください。第1回プロジェクト会議を、近日中に市庁舎内で開催します。

問合せ先：納涼たなばた祭りプロジェクト 寺山（ 82-4031 ）

亀山土産出前店プロジェクト 余野公園つつじ祭りに参加

余野公園つつじ祭り（5 / 11）にカシオペアの会が参加。つつじの満開はもう少し先といった時期で、当日は生憎の雨となり、午後からは風も加わる荒れ模様。祭りは、伊賀甲賀地区の市町村が模擬店に参加する規模の大きなものです。和菓子、ロウソク、坂本棚田紙漉工芸品、水墨画作品、割箸・黒文字・楊枝納め和紙作品、さやかさんのポストカードなどを販売しがてら亀山を宣伝してきました。



～ 外国人の皆さんに暮らしに役立つ日本語を教えよう！ ～

「日本語サポーター養成講座 入門編」を開催します

市内在住の外国人の増加により、地域、学校、職場において彼らに日本語を教える必要性が多くなりました。そのような状況のなか日本語指導のボランティアの育成が望まれています。そこで、「亀山国際交流の会」では教えるにあたって必要な基礎的な講座を開催します。ボランティアで地域の外国人に日本語を教えあうことで国際交流をしませんか！

主催 亀山国際交流の会（KIFA）

日時 2003年6月28日（土）6月29日（日）の2日間集中講座

及び7月5日（土）の実地見学

両日とも10:00～15:00 但し7月5日の実地見学は19時からです。

会場 亀山市総合保健福祉センター「あいあい」2F会議室
（亀山市羽若町）

募集人員対象 30名（先着順）市内および近郊の市町村の皆様

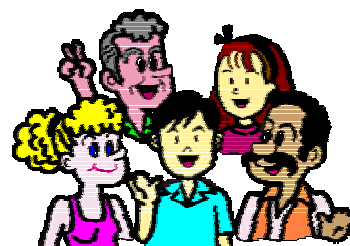
無料 但しテキスト代 2000円ご負担願います。

申込み・問合せ 亀山国際交流の会事務局

亀山市本丸町579-13 古市 宅

TEL&FAX 0595 82 0583

E-Mail fosamu@zvtv.ne.jp



踊り・祭りを考える会（仮称） 活動開始！

第3回市民交流会の7つのテーマの1つであった「亀山の伝統文化を興そう」での話し合いをきっかけに、「踊り・祭りを考える会（仮称）」が立ち上がりました。市内に残るいろいろな踊りや祭りをもっと盛り上げて次の世代に伝えていこうと4月21日に初会合が開かれました。まずは、全国的にも珍しい灯踊りを後世に残していこうと、子どもに焦点をあて学校への働きかけを始めました。「子どもの頃から亀山に残る素晴らしい灯踊りに触れてほしい、そして納涼会でより多くの人にぼんぼりを持って踊ってほしい。」そんな熱い想いを抱いて、これから本格的に活動していきます。





「月の庭」亀山に根付いた不思議な場 環音2003 東ティモール交流・楽器寄贈企画支援イベントを開催



会場全体で歌い踊るライブ
(5月11日 亀山市青少年研修センター)

「こまっちゃクレズマ」

梅津和時をリーダーとする、旅芸人仕様の音楽隊。クラリネット、サクソ、ヴァイオリン、チューバ、アコーディオン、ドラムスから成る編成で各地のお祭り、ストリートなど、どこにでも入り込む身の軽さが信条である。

97年にはモンゴルに遠征、1500人規模の大ホールで、草原で、お年寄りから子供までの熱い支持を得た。

多額の予算を使いイベント専門業者に委託し市民(観客)は無料でそれに参加する。そんな既成のイベントと対極にある場が亀山にある。西町のオーガニックレストラン「月の庭」に集う人たちが手作りで企画し県外からも参加者が集まるイベントを見る機会があった。この日は独立したばかりの東ティモールとの音楽を通じた交流を行うNPO環音への支援ということで様々なグループの手作り品を販売するブースと観客参加型のライブで100人位が集まった。これから東ティモールに出かけるというNPO代表は自分の幼児体験からの流れを汲むその思いを熱く語った。こんな若者とそれを支える人たちが今生まれてきている。とかく無感動、無関心といわれる若者たちが全てではないことを思い嬉しかった。手作りパンやケーキ、お菓子、装飾品等さまざまな物品のブースでは、お互いの交流の場となっていた。ライブは「こまっちゃクレズマ」と称する男女5人組で庶民派というか世代を超えて楽しめるジャンルであった。参加者の中に入り込み共に歌い踊り場を盛り上げるのはさすがであった。けっして安くは無参加費だがそれに見合うひと時を共有する、それで満足感を得て帰途に着く。これは既成の無料イベントにまねのできないことである。「イベントは無料でなければ・・・」という既成概念をくつがえす「月の庭」のあり方にうらやましさを感じた。

(伊藤 記)

6月18日(水)は、【衣笠貞之助デー】です！！

『小津安二郎生誕100年記念 三重映画フェスティバル 2003』が、6月14日(土)～6月22日(日)に、三重県総合文化センター(津市)で開催されます(6/13は前夜祭開催、6/16は休館日)。岸恵子さん、筑紫哲也氏、瀬木直貴監督他ビッグを多数お迎えし、「無声映画&活弁」、シンボジウム、合唱、若者企画「ミエノヨカン」等々個性ある、充実した映画祭となりました。みなさまのご来場をお待ちしています。

1) 生誕100年の2003年を、三重県にゆかりの衣笠貞之助、藤田敏八、小津安二郎の3人の物故監督を柱に据え、日本映画復興と県民の皆さんに映画文化への関心をもってもらうための新たなきっかけとなるよう、『三重映画イヤー』と愛称しています。

2) 同2階ギャラリーで、「衣笠貞之助展、藤田敏八展、小津安二郎資料展、ローアングル公募写真展、高校生<小津>書道展」なども開催いたします。

3) 6月13日の前夜祭では、昨年10月に県下で撮影された『いずれかの森が青き海』が上映されます。ふるさと四日市を見つめる16歳の少女を主演にした、“まちづくりのきっかけづくり”映画です。 <http://www.e-idea.co.jp/eiga/>

4) 特に、6月18(水)は、【衣笠貞之助デー】です。昼13:30からは、田中徳三監督による講演「雷蔵、勝新、黒澤、溝口、市川崑&衣笠を語る(大映映画私史)」、『悪名』上映夜18:15からは、鼎談「衣笠を語る」ミニコンサート 合唱団うたおにです。鼎談は落合喜好さん(御幸町)、大野章さん(四日市)、岩間で行いますが、会場にお越しの衣笠映画塾のみなさんにも話していただく予定です。そして、衣笠監督カンヌグランプリ作品『地獄門』上映です。またとない好機です。お待ちしております。是非ぜひよろしく願いいたします、友よ!

5) 詳しくは、HPまたはチラシ(市民活動コーナーに有)をご覧ください。

<http://www.mie-cinemafesta.net/~mie027-1/top.htm>

6) 期間中お手伝いいただく「ボランティア・スタッフ」を募集中です。1日でも結構です。どうぞお助けください。

7) チケット好評販売中です。お早めに岩間政人までお願いいたします(*^o^*)

8) 三重映画フェスティバル2003実行委員会編、書籍「巨匠たちの風景～みえシネマ事情」発売中です。(三重県内主要書店のみの限定販売ですが、)実行委員からもご購入いただけます。岩間まで、よろしく願い申し上げます

<お問い合わせ先>

三重映画フェスティバル2003実行委員会事務局 <電話:059-233-1120 10:00~17:00(月曜日休み)>

岩間 政人(発起人・実行委員)<Tel:090-1506-8569(携帯電話。平日のお電話は19:00~22:30にお願い申し上げます)>



せっかく習ったパソコン
を活用しませんか？

電子版 文芸のページ「温故知新」昔を知って創ろう未来！スタート

あなたの回顧録・自叙伝・あるいは未来を語りませんか？
苦しかったとき嬉しかったとき長い人生のとおきのお話をしませんか。
これからの時代を生きる若いあなた、未来を語りませんか。

電子版という画期的な方法であなたの思いを伝えましょう！

- ・紙版と違い掲載数に制限がありません。
- ・投稿、編集、掲載、加筆修正を期限無く同時進行できます。
- ・時代の流れに埋もれていく庶民の生活の記録に最適です。
- ・世代を超えた市民交流のきっかけにしませんか。
- ・故郷を離れて住む皆さんとの交流もできます。

詳しくは説明パンフをご覧ください。

今後の行事

ひのや坂お休場お披露目実行委員会	5月22日(木) 19:30～	城西コミュニティ	
踊り・祭りを考える会(仮称)	5月23日(金) 19:00～	市役所3F	
企画会議	5月24日(土) 19:30～	市役所3F	6月21日の準備等
ぼっかぼかの会 アート活動	5月25日(日) 10:00～12:00	あいあい2F 工作室	
ほっかほかの会 お菓子作り教室	5月29日(木) 9:30～12:00	あいあい2F 栄養指導室	
ぼっかぼかの会 座談会(先輩の話)	5月30日(金) 10:30～12:30	あいあい2F 小会議室	先輩のお母さんにご自分の体験談を話していただこうと思います。
「海からのメッセージ」 海からのメッセージ実行委員会	5月31日(土) 9:00～13:30	白子港	・漁船で集めた海底のゴミを見て調査・分類します。 ・海洋調査船に乗って海の状態を実感します ・潮干狩りなど
坂本棚田野上がり祭り 坂本地区棚田保存会	6月1日(日) 10:00～14:00	坂本農村公園	もちつき大会、撮影大会、写生大会、和紙作品 各種販売ブース
地域の活性化を考える会	6月2日(月) 19:30～	市役所3F	七夕を今年もやろう
亀山の自然環境を愛する会	6月4日(水) 19:00～21:00	あいあい2F	各グループの報告
花しょうぶ祭り	6月8日(日) 10:00～15:00	亀山公園菖蒲園	花しょうぶ栽培指導、各種販売ブース、撮影大会、 写生大会等
亀山国際交流の会	6月10日(火) 19:30～	市役所3F	定例会です
ぼっかぼかの会 アート活動	6月15日(日) 10:00～12:00	あいあい2F 工作室	
宿場の賑わい復活一座	6月19日(木) 19:30～	市役所3F	今年度の行事の進め方と会計報告
ぼっかぼかの会	6月20日(金) 19:00～21:00	あいあい	定例会です
定例市民交流の日	6月21日(土) 19:30～21:30	市役所3F	「地域の課題を考えよう」

編集作成：「きらめき亀山21」広報

EMAIL amani@helen.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www6.ocn.ne.jp/~kameyama/kirameki/>

亀山市民ネット <http://www6.ocn.ne.jp/~kameyama/>